

## オオサンショウウオの生息する広島県管理河川における 河川工事に関する検討会の第3回開催結果について

### 1 要旨・目的

本県が管理する河川の工事における国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ（絶滅危惧Ⅱ類※）の配慮方針について、多角的な観点から学識経験者の意見を伺うため開催した第3回の結果について報告する。

※絶滅危惧Ⅱ類…絶滅の危険が増大している種

### 2 現状・背景

国の特別天然記念物であるオオサンショウウオは、生息・生育・繁殖可能性が高いと判断される場合には種に応じた環境保全を行うこととされており、本県では現地で生息を確認した河川工事において専用のブロックの採用等により配慮してきたところである。

令和6年度、オオサンショウウオが確認されている本県が管理する河川での工事において、オオサンショウウオの専門家より「生息に適さない河川工事が行われている」との指摘がなされている。

### 3 概要

#### (1) 第3回の開催結果

##### ア 日時

令和8年3月25日（水） 13:30～17:30

##### イ 場所

TKP ガーデンシティ広島駅前大橋ホール6 A

##### ウ 検討会構成員

（参考）検討会構成員名簿のとおり

##### エ 説明内容（委員会資料については後日県ホームページで公表）

内説 容明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回検討会の意見への事務局の対応案</li> <li>・オオサンショウウオに配慮が必要な範囲の考え方</li> <li>・オオサンショウウオに配慮した工法、調査のあり方 等</li> </ul>
議 事 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオサンショウウオに配慮が必要な範囲を、生息標高により地域区分することについて、概ね合意が得られた。また、生息情報等の更新をしながら運用すべきとの意見があった。</li> <li>・配慮ブロックの設置密度は、地域区分に応じた設置間隔を定めたいと、対岸など現地状況に応じて配慮することが望ましいとの意見があった。</li> <li>・配慮ブロックの配置及び内部空間の大きさについては、護岸の強度等を考慮しつつ、再考すべきとの意見があった。</li> <li>・これまでの意見を踏まえて配慮方針を策定するため、第4回検討会を開催し、引き続き議論を行うこととなった。</li> </ul>

#### (2) 予算（補助事業・単県）

—

### 4 今後の対応

引き続き検討会において丁寧に議論していただいた上で、早期の配慮方針策定を目指す。

(参考) 検討会構成員 (◎…会長)

氏名	意見を求める分野	役職
阿部 勝彦	文化財	広島県文化財保護審議会委員 広島市安佐動物公園 園長
内田 龍彦	河川工学	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
◎ 河合 幸一郎	生物環境	広島大学 名誉教授
金田一 智規	環境保全工学	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
清水 則雄	オオサンショウウオ	広島大学オオサンショウウオ保全対策プロジェクト研究センター長
内藤 順一	希少生物	レッドデータブックひろしま爬虫類・両生類調査部会調査委員代表